

富士山 お中道・奥庭 ハイキング (2019/6/26)

by TI

富士山に三回以上登頂した者だけに許されたという特別の行者道・お中道と奥庭のハイキングに同窓会仲間 8 人で行ってきました。昨年、夏の終わりに企画したのですが、天候が悪く流れました。そのリベンジ版です。今日 6/26 は、梅雨の合間の好天気日に恵まれました。

2 台の車でそれぞれに仲間をピックアップして午前 7 時頃に狭山日高および入間 IC に入る。談合坂 SA で合流し、河口湖 IC を目指す。途中から見た富士山には、5 合目辺りに西側にたなびく層状の雲があり、5 合目のお中道は層雲の中かその上かと気をもむことになりました。そして、富士スバルラインに入り、その終点「富士山五合目（標高 2,305m）」の一つ手前の「奥庭駐車場（標高 2,227m）」に向かいました。8:45 到着。50 台の駐車場は未だ数台の車のみで静かです。晴、気温 13℃で寒くなく、準備した防寒具も出番がありませんでした（狭山市の最高気温は 28℃）。

今日のお中道の予定コースは、奥庭駐車場から御庭遊歩道に入り、富士山五合目から反時計回りのお中道との分岐点を経由して、そのまま、反時計回りのお中道を進み、滑沢（かつたく）までの往復ピストンです。御庭遊歩道からは、一方に目の前の富士山、反対方角に遠くのハヶ岳など素晴らしい景色の中を進みました。御庭は、上下に大きく波打っている森林限界移行帯にあり、カラマツやシラビソなどの低木林やいろいろな苔などがみられます。ここから高所には森林はなく、裸の富士山が身近に立ち上がっていました。



御庭遊歩道から遠くにハヶ岳



御庭遊歩道からの目の前の富士山



やや平坦になった付近では、上記の写真に写っているような砂礫に埋められた石ブロックが続いており、この上をどんどん進みます。何の道標もなく道が左方向に進み過ぎおかしいなと思ったその道先には新しい東屋がありました。ここで休憩とし、スマホにダウンロードしてある登山地図で現在地をチェックしました。なんと、分岐点を既に少し通り越し 5 合目に向かうお中道側に入り込んでいました。計画コース外れです。この後は、スマホ地図をたよりに分岐点まで戻りました。分岐点には何の道標もありませんでした。確かに滑沢（かつたく）に向かうと思われる礫石路に踏み跡があり、これを進むことに。コース外れの修正を完了。

滑沢（かつたく）から先の大沢崩れまでは 2017 年 10 月に発生した大崩壊のため行けないことは判っていたのですが、分岐点後にして進んで直ぐに黄色いロープによる通せんぼあり。もう少し先まで行って見ようと超えて木々に囲まれた小道に入った途端にまた黄色いロープによる通せんぼあり、滑沢（かつたく）コースを断念することにしました。（インターネット上には、今年になってからも滑沢（かつたく）まで行った報告はいくつかあるのですが、これらは“OWNリスク”による行動と思われます。）そして、余程の場合として代案にしてあった、分岐点から富士山五合目まで時計回りのお中道めぐりコース変更しました。コース時間は約 1 時間とほぼ同じです。

お中道には、風雪で曲がった森の中を歩く箇所もあり、そこではいくつかのかわいい小さな花と出会いました。早速、花先生の YA さんにその名前を教えてください。3 歩あるくと覚えたはずの名前が出てこず、とても申し訳ないし、情けなく。（出会ったお花の写真は、別紙報告を参照して下さい。）また、火山である富士山についての講義も MH さんからあり。花知識や専門話を仲間から教われるのは嬉しい。



落石防止の堰堤(その先の山斜面は雲で見えず)



五合目近くになって雲で隠れ始めた富士山

石楠花の群生が所々にありますが、未だ季節が早いのか花はありません。5合目へのお中道コースを半ば進んだあたりから麓から湧き上がる雲の中に突入。突入後は、目の前の富士山も下界も見えなくなりました。コース途中、まだあどけさの残る元気な中学生の大グループと出会い、その先頭から末尾までの生徒たちと「こんにちは」、「こんにちは」、……と挨拶を交換。私たちもこんな若さの時もあったなと、ふと思い。そして、11:25頃、五合目に到着。五合目から隣のバスストップ「奥庭駐車場」への戻りは、エネルギー温存のため、路線バスを利用しました。後に奥庭コースのピストンコースが控えています。バスは、11:40発、250円、乗車時間は5分ほど。

下り15分で、食事・宿泊・休憩、おみやげ品が利用できる奥庭荘に到着。この荘の壁横に10人足らずの大きな望遠レンズ付きカメラを設置したオジサンたちが、じっと森を覗き込んで待機中。水浴びにくる野鳥を待っているのだとか。ここは、バードウォッチングや野鳥撮影に名の知れた場所だそうです。奥庭は、余りの美しさに天狗が遊んだという伝説があり、天狗が天に昇るとき、また天から降りてくる時に使った霊魂のこもった台石「天狗岩」が、その壮の反対側にありました。一周40分の周遊コースを少し入った所で、日陰と座り心地の場所を見つけ、昼食を取りました。ココアを飲まして頂いたり、さまざまのお菓子や漬物などを頂いたり、楽しい自然の中のランチタイムです。富士山が見えたり隠れたりしていましたが、周遊コースの終盤では、赤黒色の富士山も朝時よりも鮮明に見えました。上り20分で奥庭駐車場に戻り、奥庭コースのピストン終了14:20。そして、富士山は押し上げられる雲に再度隠れて見えなくなりました。

梅雨時期の折りにこんなに恵まれた天候の下、雄大な自然の懷で、上手く、かつ楽しく一日が過ごせたことに大感謝です。



奥庭の「天狗岩」



奥庭から見た富士山





コメツガとまつぼっくり